

㊦ 新時代へのみやざき高等学校教育魅力化推進事業

高校教育課（学校教育計画担当）

1 事業の目的・概要

中山間地域の高等学校の魅力を高め、地理的制約を超えた多様な学びを提供するため、遠隔・オンライン授業の活用による教育実践、他校との交流や、地域資源を活用した人材育成の取組を推進する。

2 事業の概要

(1) 予算額 21,782千円

(2) 財源 国庫支出金 14,000千円
 （国の事業「COREハイスクール・ネットワーク構想」）
 人口減少対策基金 7,782千円

(3) 事業期間 令和3年度から令和5年度まで

(4) 事業内容

- ① 同時双方向型の遠隔授業などICTを活用した連携・協働
 - ア 高校や校種を超えた多様な学び（新しい「みやざきの学び」）の実現に向けた遠隔・オンライン授業の実践と体制整備
 （ネットワーク構成校：高千穂高校－延岡高校、福島高校－宮崎南高校）
 - イ ICTを活用した授業構築と指導力向上のための研修会の開催
 - ウ SDGsを視点とした学びの成果研究実践発表・交流会の開催
 （MSECフォーラム）
- ② 地元自治体等の関係機関と連携・協働する体制の構築
 - ア 地域の団体等と連携した地域と学校の協働体制の構築
 - イ 地域を支える人材を活用した授業等の実践
 - ウ 地元中山間地域高校への進学及び全国・都市部からの中山間地域への留学促進

3 事業の効果

遠隔授業等により、中山間地域の高校と都市部の高校の交流が可能となるなど「新しい『みやざきの学び』」が確立されることで、将来の地域を担う人材の地元への定着と地域外からの流入が促進される。